

進化するホームページサービス

伊藤 彰朗 元木 環

京都大学 学術情報メディアセンター データベース掛
京都大学 学術情報メディアセンター デジタルコンテンツ研究部門

1 ホームページサービスとは？

京都大学学術情報メディアセンターでは、利用者個人用ホームページサービスのほか、利用者が管理するホームページをセンターのサーバに設置し、仮想ホスト機能を用いて研究室などのドメイン名で公開するホームページサービスを行っています。これにより、学術研究を目的としたホームページなら、専用の計算機を管理する手間を省き、公開することができます。

この度、平成17年4月より、ホームページサービスの一層の充実を図るため、機能を新たに追加したグレードが設定されることになりました。

また、ホスティングサービスを受けられる方には、合わせてホームページのデザインや作成の支援を行う計画を試行することも予定しております。

新年度からの研究・教育活動にぜひご活用ください。

2 新しいサービス内容

ホームページサービスのグレードは、現行の2タイプから、3タイプに拡大されます。今回、追加するグレードには、全学・部局の公式ホームページ相当にもご利用いただける以下のような特徴があります。

容量の増加

利用できるディスク容量は10GBまでとしますので、多くのコンテンツを公開することが可能になります。

CGIの利用

現行のサービスで利用できるPHPに加え、アクセスカウンター以外のCGIも利用できるよう

になりました。さらに動的なWebページを作成していただけます。

リレーショナルデータベースのOracleとの連携

検索システム等の作成にご利用いただけます。大量のデータを蓄積し、高速に処理することができます。

アカウントの複数発行

アカウントは複数発行されますので、管理とコンテンツ作成作業等の分散化が可能です。

バックアップ体制の強化

コンテンツのバックアップは、ディスクの障害に備え毎日バックアップします。

その他、電子証明書付きの認証については、各仮想ホスト名毎ではありませんが特定のホスト名による利用を考えています。

なお、負担金は、月額10,000円を予定しています。

3 コンテンツの作成について

ホームページサービスでは、設置するコンテンツの作成を、すべて利用者の責任で行っていただいておりますが、この度、Webコンテンツの作成を支援するサービスを試行することになりました。支援の対象になるのは、3タイプのグレードのうち仮想ホストを用いる2種類になります。主に、組織やプロジェクトの紹介等広報的な内容を対象に、ある一定のフォーマットに編集できる内容、資料をお持ちいただければ、その趣旨に合わせたデザインをご提案します。

負担金は、最終的な分量（作業時間）に応じて加算されますが、最初のご相談時におおまかに見積もりいたします。

詳しくは、センターホームページ
 (<http://www.media.kyoto-u.ac.jp/>)に、利用
 案内を掲載する予定ですので、そちらをご覧ください。

